

令和5年度

「嘉飯桂未来塾」

活動報告書



主催：嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム 「嘉飯桂未来塾」概要

～「嘉飯桂未来塾」とは～

嘉飯桂地域（飯塚市、嘉麻市、桂川町）の中学生2年生が、地域にゆかりのある方の講義やキャンパスツアーなどの体験活動、他の中学校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学び、将来、様々な分野で活躍する「リーダー」の育成を目指した合宿型プログラムです。

- 1 主催** 嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)
- 2 後援** 福岡県教育委員会
- 3 協力** 一般社団法人飯塚青年会議所
- 4 開催日程**

令和5年10月14日(土)	日帰り1日
10月21日(土)～22日(日)	1泊2日
10月28日(土)～29日(日)	1泊2日
	計5日間
- 5 会場** イイツカコミュニティセンター（飯塚市飯塚14-67）
足白農泊施設「カホアルペ」（嘉麻市馬見587） ほか
- 6 参加状況** 募集対象：嘉飯桂地域在住の中学2年生
参加生徒数：24名



〈本編〉



〈ショート版〉

今年度のプログラムの様子をご覧ください！



講師紹介

麻生 泰氏 (九州経済連合会 名誉会長)

飯塚市出身。1969年慶應義塾大学法学部卒業、1972年オックスフォード大学ニューカレッジ卒業。1979年麻生セメント株式会社代表取締役社長就任。2016年1月より同社 代表取締役会長。2013年より九州経済連合会会長を務め、2021年より現職。株式会社麻生代表取締役会長、福岡雙葉学園理事長、麻生塾塾長なども務める。



古野 隆雄氏 (合鴨家族古野農場)

桂川町出身。1975年、九州大学農学部卒業、1978年、大学院中退後、完全無農薬有機農業を始める。1990年、合鴨水稲同時作の体系化。2000年、スイスのシュワブ財団より、「世界で最も傑出した社会起業家」の一人に選出される。2007年、九州大学で博士号(農学)取得。2016年、畑の株間除草技術ホウキング開発。主著に「アイガモの絵本」「合鴨ドリーム 小力合鴨水稲同時作」「アイガモがくれた奇跡」などがある。



青木 俊介氏 (九州工業大学 情報工学研究院 教授)

1998年に大阪大学大学院医学研究科博士課程を修了し博士(医学)の学位を取得。2004年に厚生労働省所轄の国立精神神経センター神経研究所の研究室長に就任。2008年には九州工業大学に准教授として着任後、2015年には同大学において教授に就任した。九州工業大学副学部長、副理事を歴任。最近では九州工業大学STEAM教育支援室において、科学教室やイベント等を実施し、筑豊地区や福岡市等の小中学生に対する理数教育支援活動を行っている。



正田 英樹氏 (株式会社chaintope 代表取締役)

九州工業大学情報工学部卒業。1999年に株式会社ハウインターナショナル創業。2016年にブロックチェーンに特化して事業を進めるべく株式会社chaintopeを設立。ブロックチェーンを用いた自律分散型の新たな社会モデルの構築をモットーに、様々な分野でのブロックチェーン実装に向けて展開中。九州工業大学、熊本大学の客員教授を務める。



木下 寛子氏 (九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授)

神奈川県横浜市生まれ、山口県育ち。九州大学教育学部卒業、九州大学大学院人間環境学府博士課程単位修得退学、博士(人間環境学)(九州大学)。近畿大学九州短期大学を経て、九州大学大学院人間環境学研究院准教授、九州大学人社系協働研究commons兼任。専攻は環境心理学、教育環境学。ある小学校の日々への参与の経験から、雰囲気や風土、学校の世界を問うことを研究主題にしている。主著に『出会いと雰囲気の解釈学—小学校のフィールドから』(九州大学出版会、2019)。



コーディネーター紹介

深山 翔平氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事長)

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし、全ての人によりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマナーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども

向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から100名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



山下 徹朗氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事)

福岡教育大学卒。小学校教員、全国小学校理科教育研究会にて実践発表、日本一周を経て、一般社団法人TJC教育サポートの理事に就任。子どもから大人、学校から地域、社会へ教育者として多岐に貢献している。



活動報告

1日目

10月14日、「嘉飯桂未来塾」がスタート。参加生徒は緊張した面持ちでイヅカコミュニティセンターに入ってきました。

開講式では、嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会の左藤会長（福岡県青少年育成課長）から、「一人ひとりが自分なりに考え、仲間と相談し、一緒に課題を解決してほしい」との話がありました。

参加生徒の表情からはこれからの5日間に不安がありつつも、期待が高まっていることが伝わってきました。

午前は、オリエンテーションとグループワークを行いました。オリエンテーションでは、参加生徒同士で呼び合うキャンブネームを考え、お互いに楽しむ雰囲気を作るアイスブレイクを行いました。

オリエンテーション終了後は、参加生徒の緊張もほぐれ、互いの理解が深まり、積極的にコミュニケーションをとる様子が見られました。

グループワークでは飯塚市、嘉麻市、桂川町の職員が参加生徒に考えてほしい課題を提供し、どの課題に5日間向き合うか話し合いました。

午後は、麻生泰氏（九州経済連合会名誉会長）から「与えられた一度の人生」をテーマに、勉強と共に大事な3つの力「体力、英語力・IT力、魅力（自分の強み）」についてご講義いただきました。

講義の最後には「人情溢れ、自然豊かな嘉飯桂地域を一緒によりよくしていきましょう。」とメッセージをもらい、自分の進路だけでなく、嘉飯桂地域の魅力について見つめなおす貴重な時間となりました。

Schedule

- 10:00 ~ 開講式
- 10:30 ~ オリエンテーション
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ オリエンテーション・グループワーク研修
- 14:40 ~ 講義
- 16:00 ~ グループワーク研修
- 17:00 ~ 解散



2日目

2日目の午前は、古野隆雄氏（合鴨家族古野農場）から「失敗の数だけ人生は楽しいー農業と人生を面白くする技術」をテーマに長年、成功と失敗を繰り返し、体系化させることができた合鴨農法（水田で稲と合鴨を同時に育てる方法）についてご講義いただきました。「広い視野を持って物事を考えるためには、どのよう

なことをしたらいいですか。」との参加生徒の質問に対し、「テレビやSNS等の人工情報に囚われず、畑で太陽を見上げ、土に触れるなどの自然情報に触れてほしい。」と自らの経験から貴重な助言をいただきました。

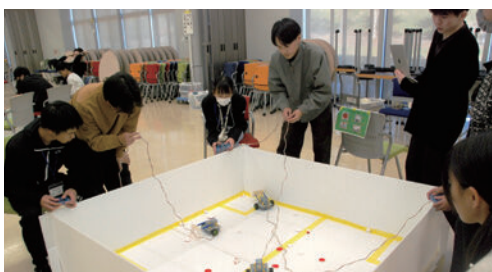
講義後は古野農場に移動し、農業体験を行いました。どこまでも広がる自然豊かな風景に参加生徒は心が安らいでいるようでした。



Schedule

- 10:00 ~ 講義
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ 農業体験
- 14:30 ~ キャンバスツアー・講義
- 18:30 ~ 夕食
- 20:00 ~ 交流（焚き火）
- 21:00 ~ 就寝

午後は、九州工業大学飯塚キャンパスでキャンパスツアーを行いました。大学生の指導の下、ドローン体験を行うなど普段の生活では体験できない最先端の情報工学に触れることができました。その後、青木俊介氏（九州工業大学情報工学研究院教授）から「情報工学のもたらす新世界探訪 - 情報工学の可能性は∞」をテーマにご講義いただきました。貧しい国の結核患者の命を救うために、バーチャル空間を使った結核の薬の開発への熱い想いを聞き、失敗を恐れず何度も挑戦する姿勢の大事さを学ぶことができました。



3日目

3日目の午前は、正田英樹氏（株式会社chaintope 代表取締役）から「志を持つことこそが人生を豊かにする」をテーマにご講義いただきました。講義後、参加生徒から「失敗することは怖くありませんでしたか。」という質問に対し、「成功の糧となれば失敗は怖いことではないです。成功するためには必要な経験です。」と新たな挑戦をする際に背中を押す貴重なお言葉をもらいました。志を持つことの重要性を学び、参加生徒は将来のために、普段の学校生活から細かな目標を立てて過ごすことを心に決めているようでした。

午後は、アドベンチャープログラム（一般社団法人TJC教育サポート）とボルダリング体験を行いました。アドベンチャープログラムでは与えられた課題を解決するために、議論を進めていく中で、自分の意見を積極的に発言する様子を見ることができました。ボルダリング体験では初めて挑戦する参加生徒が多く、最初は躊躇している様子も見られましたが、レクチャー後、参加生徒同士の声掛けで勇気づけられ、目標よりも高い地点を目指して励むことができました。



Schedule

- 7:00 ~ 起床、朝食
- 9:30 ~ 講義
- 11:00 ~ アドベンチャープログラム
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ アドベンチャープログラム
- 14:30 ~ ボルダリング体験
- 15:30 ~ 当日のまとめ・振り返り
- 17:00 ~ 解散



4日目

4日目の午前は、福岡アメリカンセンター（在福岡米国領事館広報部）で施設の方から留学について教えていただきました。留学に対し興味を持った参加生徒

はとても多く、「留学するまでに英検何級まで取得する必要がありますか。」「外国で困った経験がありますか。」など、多くの質問が挙がりました。施設見学を終えた後、普段は在福岡米国領事館の首席領事が記者会見を行う場所で記念撮影を行い、貴重な体験ができました。



午後は、九州大学伊都キャンパスに移動し、木下寛子氏（九州大学大学院人間環境学研究院准教授）から「人と人のキヨリを知る：環境心理学への招待」をテーマにパーソナルスペースについてワークショップを交えてご講義いただきました。講義後は、九州大学の在学生とともにキャンパスツアーを行い、九州大学で一番の広さを誇る中央図書館や、伊都キャンパスの広大な敷地を見下ろせる石ヶ原古墳跡展望展示室を回りました。ツアー中、九州大学の在学生から普段の大学生活での生活のお話もしていただき、キャンパスライフをイメージすることができました。



Schedule

- 10:30 ~ 施設見学、講義
- 13:00 ~ 昼食
- 14:00 ~ キャンパスツアー・講義
- 19:00 ~ 夕食
- 20:00 ~ 当日のまとめ・振り返り
- 21:00 ~ 就寝

5日目

最終日である5日目は、グループ発表に向けて、この5日間での体験・学んだことを振り返りながら、「私たちが目指す未来の嘉飯桂地域」をテーマに、1日目に選択した嘉飯桂地域の課題について模造紙を使って意見を発表しました。また、「私たちが目指す未来の嘉飯桂地域」の実現のために、これからの日常生活の中で、自分たち一人ひとりができることを個人発表しました。見学に来ていた保護者の方々、関係者から発表内容について質問を受けた参加生徒は、自分たちの言葉で丁寧に答えるなど、活気のあるグループ発表となりました。

閉講式では、嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会の木本推進委員（嘉麻市教育長）から修了書が授与されました。

閉講式終了後、参加生徒は仲間と5日間の思い出を振り返り、別れを惜しみつつ、解散しました。



Schedule

- 7:00 ~ 起床、朝食
- 9:30 ~ グループワーク研修
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ グループ発表準備
- 13:30 ~ グループ発表
- 16:00 ~ 閉講式
- 16:30 ~ 解散

アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたか把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

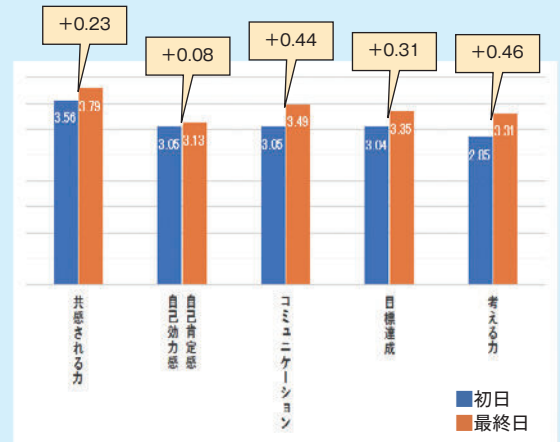
アンケートの実施方法

- ・プログラムの初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった。
- ・5項目（共感される力、自己肯定感・自己効力感、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうか調べた。
- ・1つの項目に対し、4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価

(質問例)

①共感される力	何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える
②自己肯定感・自己効力感	自分の長所や強みについてよく分かっている
③コミュニケーション	話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている
④目標達成	自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる
⑤考える力	新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

<令和5年度アンケート結果>



参加生徒の声

リーダーは周りを引っ張るだけでなく、時には相手のことをサポートするのも役割だということを学ぶことができました。

他学校の中学2年生とグループを組み、様々な分野で活躍されている講師の方のお話を聞き、楽しみながら嘉飯桂について学ぶことができました。

アドベンチャープログラムで人と会話をしながら協力し、挑むことで達成感が生まれることを知ることができました。グループ内で嘉飯桂地域の課題について話し合い、協力して取り組むことで仲を深めることができました。


リーダーシップと一口に言っても、様々な役割があることを知ることができました。最初、馴染めるかとても不安でしたが、学生スタッフ等のサポートもあり、すごく楽しめることができました。

普段では行けないような場所に行くことができたからこそ、新しい発見があり、視野が広がり貴重な体験ができました。

失敗から色々なことを学ぶということが分かり、今後、意欲的にたくさんの方に挑戦できるようになりたいです。プログラムに参加して本当に良かったです。

今回のプログラムで自分の意見や気持ちを伝える大切さについて学ぶことができました。講師の先生方の講義や、様々な体験活動で共通していたことは『自分の意見や気持ちを伝える大切さ』でした。学校でのグループワークや生徒会にも活かしていきたいです。

『話すこと』、『挑戦すること』、『失敗を怖がらないこと』を学び、様々な講師の先生方の話を聞いて楽しかったです。明日からの学校生活に活かしていきたいです。



嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)

問合せ先 嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会事務局
(県庁青少年育成課内)

住所：〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL：092-643-3402 (平日 9:00~17:00)

Mail：ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp

